



## 「かけがえのない出会い」

ちいろば会理事 望月 麻生

自分のことを真剣に考えてくれる人に、一人でも出会えること。それは本当にかげがえのないことです。私はもともと、人間関係についてかなりドライな人間です。人に深入りすること、逆に深入りされることは、今も正直ちよっぴり身構えてしまいます。でも、ある出来事が、そんなわたしの価値観をほんの少し変えました。誰かが自分のことを心から考えて向き合ってくれる、一緒にいてくれる……それは神様がくださった、とっておきの宝物なのだと、今は思います。

タモツさんという、忘れられない人が私にはいます。20年ちかく前に車の免許を取ったとき、わたしは東京近郊の教会で、牧師の見習いとして働いていました。タモツさんはその教会のメンバー。わたしが持ち前の不器用さゆえ教習所でだいぶ苦勞していたのを、この方はよくご存知でした。

さて、はじめての免許証をどうにか手に入れてほのないある日、タモツさんは自分の大きな車を運転して教会に来てくれました。「高速道路、運転したことあるかい？」わたしは首を横に振りしました。教習所は高速道路から遠く、わたしは大きな画面のついた、まるでゲームのようなシミュレーターで高速道路の教習を受けただけだったのです。「だろうね。よし行こう！」タモツさんはわたしを車に乗せました。しかも助手席ではなく、運転席です。ご自分の車に、免許取りたてのわたしを！

初心者マークを忘れず貼って出発。教会から 20分ほどのインターチェンジへ向けて運転した、あの時の緊張感は忘れられません。しかし本番はそこからでした。料金所を抜け、十分に加速してさあ合流！息が止まりそうでした。タモツさんは助手席で「もっとアクセルを踏んでもいいよ」「ウインカー、もっと長めにね」「そろそろ追越車線にチャレンジしよう」などと、落ち着いた声で指示してくれました。タモツさんは途中のサービスエリアでソフトクリームとコーヒーをおごってくれましたが、緊張していて味がわかりませんでした。そのやさしさだけは身にしみましたが、教会に戻ったとき、「二人ともケガなく、車も無事。上出来だよ」と言ってお帰りになったタモツさん。いまでも車を運転するたびに「牧師になったら、車の運転はぜったい必要になるから」と言っているのを覚えてくれたタモツさんのことを思い出します。彼は何年か前に天国の住人となってしまいました。天国でも大きな車に乗って、あちこちドライブしているのでしょうか。

自分の力だけで今の私があるものではありません。自分の人生に真剣になってくれる人がいる、自分のことを考えて、応援してくれる人たちが必ずいる、そのことを、私はあのとき身と心をもって知りました。

私はこの 4月に関西へ引っ越してきました。西大和教会の牧師として、さっそくちいろば会にもお世話になっています。たまの息抜きで、ちいろばカフェまで行ってカレーやケーキをいただくのが楽しみです。食べ物おいしいのはもちろん、皆さんが仕事をしている背中を見ていると「私ももう少しがんばろう」と励まされて元氣が出ます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

とくべつ とうぜん  
特別ではなく、当然では？

えんしゅにん おくだ ようこ  
ちいろば園主任 奥田 陽子

今年のちいろば旅行の行き先は、昨年リニューアルオープンしたばかりの水族館。前身の水族館には約10年前、ちいろば一泊旅行で訪れていますが、悔しい想いの残る場所です。というのも、行動班のみんなとイルカショーを観ようと会場で座席選びをしていると、車椅子のKさんと私にスタッフの方が近寄って来て、前方を指差しながら「車椅子はあっち置いといてください」と言ってきたのです。会場は階段状の1階席と2階席の間に幅の広い通路がありその一部が車椅子席のようでしたが、他の通路部分とそう変わらない広さでしたので、みんなが座る席の近くにKさんも一緒に居ようとしたところ、指定された場所へ誘導されました。班のみんなと離れることを残念に思いながらKさんの隣にしゃがんで観ようとした私に、再びスタッフの方が、「車椅子だけ置いといてください。ここ車椅子だけです。」と。つまり介助者の私が隣に居ることもダメだと言うのです。一人で観ろってか?! それにはさすがに強く抵抗し、一緒に観たい想いを伝えました。車椅子の方のための場所は設けられていても、障害をもつ人たちが仲間と一緒に楽しむという当たり前のことは想定されていないと感じた出来事でした。

あれから10年。リニューアルされたことに期待をし、楽しい旅になるよう事前にあれこれ下調べをしました。すると、館内には魚を触ることができるふれあいコーナー（タッチングプール）があるのですが、プールの周囲全体に高さ約30cm、幅約40cmの段差があるため、車椅子を利用している方は座った状態ではプールに近づけないことがわかったのです。新しい設備やのになんでなーん…、一緒に行く班のみんなにも「みんなで魚触ろうな!」って言うてしもたわ…、車椅子のYさんも楽しみにしているのに…、みんなでお魚を触りたい!

早速水族館に連絡をとり相談をしました。「そうですね、段差があります」と、当然無理ですよ!といった感じでした。それなら、座ったままでも触ることができるように何か別の水槽のようなものに魚を入れてもらうことはできないか、何か段差を解消する方法はないか等、具体的にどのような対応であれば可能かを尋ねました。回答は、「タッチングプールでは配慮はできません。オルカショーやイルカショーは車椅子の方にも観ていただけるようスペースを設けています。」と……。ちっとも納得がいきません。

再度段差部分の形状を詳しく教えていただくと、一部少し広くなっている部分がありなんとか車椅子の両輪が乗れる寸法だとわかったので、そこに上げてもらえないかを交渉し、事前に了承を得ることができました。旅行当日タッチングプールのところに行くとき水族館スタッフの方も車椅子を持ち上げて約30cmの段差上に上げることを手伝って下さいました。うれしそうに水に手を浸けるYさんの笑顔を見ることができ、ようやくほっとしました。

今回、リニューアルしたばかりの施設に期待していましたが、障害をもつ人たちがはなから対象とされていないような設計には驚きました。私たち以外にも障害者団体、高齢の方々もたくさん来場されましたが、多くの人は「ここは段差があるから無理やな」と諦めて通り過ぎていくのかな…。

それでは人も社会も変わらない。まずは疑問をもち、投げかけないと! なにに困っているのか、なぜ配慮が必要とするのか、こういった手法があるのか等について丁寧に話をし、相手と一緒に考えて着地点を見出していくプロセスの大切さを実感しています。

水族館の方からは、「今回の対応は、特別な対応です。」と強調して言われました。障害をもつ人が、障害のない人と同じように体験したいという想いを抱くことは特別ではなく当たり前のことなのに、当然の想いがなかなか伝わらないことがとても残念でした。また、そこにある段差をクリアしてようやく同じスタートラインに立つことができたのに、それが特別な対応なのでしょうか。笑顔で体験ができたことは嬉しかったですが、繰り返された「ショーは車椅子の方にも観ていただけるようにしています。」という言葉は、だからそれで十分でしょ!とされているようで、10年前と同様、悔しさが残った旅になりました。

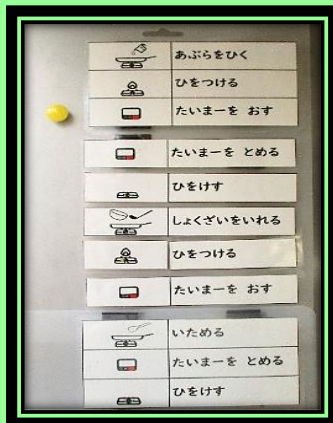
## — ばくも わたしも みんなが主役！！ —

ふじはらともひさ ばあい  
— 藤原智久さんの場合・・・

ばく しよくひんせい かい 僕は食 品 製 菓 グループでおかずづくり、おかしづくり、喫茶店での接客販売をしています。  
ばく 僕はなんでもやるのが早いので、ぱぱっとやります。そんなときに  
「ちゃんとして」「もっときれいに」と言われても正 直 ちよっと 難 しいです。  
そこで今回は僕がおかず づく りでつか いる 物 の しょうかい 紹介します。

それがこれです！

うえ しゅんぱん じしゃく  
上から順 番 に磁石を  
すす  
進めていくことで  
てじゆん わ じぶん  
手順が分かり、自分で  
おな や かげん  
同じ焼き加減の  
しょうひん つく  
商 品 を作れます。



コンロにも色で火の強さが分かるようになっていて、  
わかりやすいです。目で見てわかるようにしてあれば、  
ばく ちゅうぼう 僕は 厨 房 のコックとして活躍できるんです♪



きむら ともこ ばあい  
— 木村 朋子さんの場合—

わたしはいま、内 職 の作業や三郷町 立 図書館へ行き本を並べたりきれいに拭き取る作業を  
がんば 頑張 っています。おしゃべりが好きなわたしは、家に帰ると家族のみんなに、きょうの出来事や  
さきよう はなし 作業の話をしたりします。楽しそうに聞いてくれるのでうれしいです。家族とは旅行に行ったり  
おねえ ともだち いっしょ あそ 姉ちゃんの友達と一緒に遊びに行ったりもします。実はけんかもよくするし、怒ってしま  
うこともあるけど、ずっと健康で元気でいてほしいです。

わたしはちいろば園が愛の園幼稚園の隣 にあった  
さきようしょ ころ かよ 作業所の頃から通っています。今の場所にちいろば園  
ができて開所式が行われた時みんなの前で挨拶をしま  
した。30年以上通っているちいろば園はわたしにとっ  
てたいせつ ばしょ 大切な場所です。たくさんのおち 出 があります。悲しい  
おわか 別れもあったけどたくさん仲間も増えました。



さいきん 最近、新しい内 職 の作業もきて、みんなと一緒に  
がんば 頑張 っています。革の作業では、10個かぞえた物をカ  
ップに入れて、栗山さんにカップを渡して袋に入れて  
もらうことをしています。栗山さんにカップをわたす  
ととても嬉しそうに笑ってくれるのでわたしも嬉しく  
なります。これからみんなと一緒に作業をしたり、み  
んなとおち 出 をたくさんつくりたいです。



## —不思議なご縁—

ちいろば園職員 瞿曇 留美

ちいろば園にご縁あって入職させて頂いて、一年半が経ちました。高齢者介護施設、障がい者入所施設などで勤務していましたが、結婚、出産を経て、フルタイム勤務をするのは約20年ぶり！！ちゃんと勤まるかな！？と不安でいっぱいでした。

ちいろば園で驚いたことは、入り口が自動扉で利用者さんが自由に出入りできること。施設敷地内に飲料の自動販売機があり、休憩中に利用者さんもスタッフも自由に飲み物が購入できることでした。今まで私のいた環境が閉鎖的で利用者さんにとって、いかに自由度が低かったのか気づかされました。

また、予防的支援、合理的配慮など知らない言葉がたくさんありました。

いつも感じることは、私自身は支援者というより、利用者さんに支えてもらっているのではないかと感じています。

忘れっぽい私に、バス添乗の当番になってることを、伝えに来てくれるKさん。朝、私の姿を見つけると笑顔で駆け寄って来て挨拶してくるHさん。『ここはこうしたほうがいいよ』とアドバイスを下さるFさん。イラストが上手なYさんに大きな『O』（まる）と書いた紙をもらったときは、『あなたはここにいてもいいんだよ』と、受け入れてもらえたように感じました。そのイラストは今も大切にしています。

今、私は園芸班の皆さんと一緒に活動しています。園芸班では月に2回、王寺霊園にある日本キリスト教団の共同墓地の清掃をさせて頂いています。最近知ったのですが、その墓地に入っておられる方の中に、私が30年前、老人ホームで勤務していた時の利用者さんがいらっしゃるということを知りました。そのことを全く知らずに、月に2回清掃活動を行っていましたが、とても不思議なご縁を感じました。



私は年齢は重ねていますがまだまだ未熟なところばかり、生活支援員とは、名ばかり、利用者さんに支えて頂きながら、そして空から見守られながらお仕事をさせて頂いていることをとても実感しています。これからも健康に留意して、少しでも利用者さんに寄り添えることができるようになりたいと思っています。歩みはゆっくりではありますが、これからもよろしくお願いします。

来年は晴れますように

グループホーム職員 忠澤 美緒

10月31日に利用者の皆さんが楽しみにしていたちいろば旅行に行ってきました。私は今回で4回目の参加になります。今年も昨年に引き続き日帰りでの旅行でした。行先は神戸須磨シーワールドです。

まず旅行に行く前に各班でお昼のメニューやどこを回るかなど大体のプランを立てます。私たちは2班はお昼のメニューをハンバーグ、水族館ではシャチのショーを観てからお土産を買って、他のエリアを見学することにしました。そしてグループホームでは自宅から持参された荷物をチェックします。(今回は日帰り旅行なので、お財布や助けてカードなど)当日の服装も決め、さあ準備完了。後は出発するだけです。

そして、当日の朝、天気予報通り朝から雨模様です。バスの中ではショーは観れるかな、移動は大丈夫かなと心配しつつ、でも楽しもうと思いながら過ごしました。渋滞はありましたがそれほど遅れることもなく到着しました。しかし、雨での移動は予想以上に大変でした。オルカスタジアム、ドルフィンスタジアム、アクアライブ、ホテルと4つの建物に分かれていて、移動はすべて外を通ります。移動のたびにカップを着たり脱いだりの繰り返しで時間がとられてしまいました。シャチのショーが間に合わず、イルカのショーに変更しました。スタジアムは満員だったのでその近くから観ましたが、それでもイルカが高く飛び跳ねたりするたびに拍手をし、笑顔も見られました。

今回は団体客も多かったので、お昼はホテルで予約したランチコースです。テーブルにはナイフやフォークが並べられ、スープ、サラダ、ハンバーグと順番に出てきました。皆さんペロリと完食。冷たい雨の中、ほっとできたおいしく楽しい時間でした。

お土産売り場もちろん大混雑。自分用、家族用のキーホルダーやハンカチ、お菓子を一緒に選びました。私事ですが、ちいろば旅行では必ずキーホルダーを買います。今回はシャチのキーホルダーを買いました。また、そのキーホルダーを見ながら利用者の皆さんとの旅行の思い出話が出来たらなと思っています。

帰りのバスの中では「来年はどこに行きますか？」と、もう来年の旅行先が気になるOさん。来年も今年の経験を活かし、障がいのある人もない人も共に楽しめる旅行になればと思います。そのためには合理的配慮など、まだまだ声を上げていかなければいけないと感じました。

そして、願わくば、来年は晴れますように。



## —福祉現場の今日この頃—

ちいろば会理事長 富田 忠一

先日、奈良県福祉保険部総務課監査係から「障害福祉サービス事業所等に対する運営指導」に  
 来られました。社会福祉法人の運営に関する指導監査とは別に、障害福祉サービスの運営に関する  
 基準や介護報酬の算定等に関する基準に定められた内容が適正に実施されているか否かを確認し、  
 不適切な内容や不十分な部分についての改善指導を行うための実地指導です。

虐待防止対策をはじめ、感染症や自然災害時における「事業継続計画」(BCP)の作成などすべて  
 の福祉事業所において義務化されている内容が適正に実施されているか、報酬体系における加算  
 要件を充たしているかなど細部にわたって聴き取りや資料の確認などが行われ、七か所の改善点を  
 指摘いただきました。

今回指摘された内容の多くは、毎年のように行なわれる法改正に伴う細部の変更項目に気づかず  
 以前のまま手つかずになっていた点や感染予防対策の訓練等が不十分であった点などです。幸い  
 減算などのペナルティーに至るようなものではなく、丁寧に指導いただき早々に改善することが  
 できました。事業者として根拠法の改正の内容を細部まで把握していなかったことは、こちらの落  
 ち度であり反省しなければなりません。しかし、一方において事業所指定を行う行政機関として、  
 奈良県障害福祉課が改正内容について自らが指定した事業所に対して広く周知して確実に履行す  
 るよう指導する責務があるのではないかと私は考えます。現に、他府県や他の政令指定都市等では、  
 重要な(その内容を履行しなければ基本報酬が減算されるような)法改正があった際には事業者  
 を集めて説明会を開催したり、ホームページで改正内容について、国の資料に加えて当該の自治体が  
 独自で解説資料を作成して丁寧に指導している自治体も多く存在しています。

そんな中、奈良県障害福祉課は一切、説明会などを開催することなく、こちらからの問い合わ  
 せに対しても十分な回答を得ることができないことさえあります。挙句はいつのまにやら国の資料  
 をホームページにそのまま転記しているだけのお粗末な対応です。運営指導に来られた監査係の  
 担当者にもその旨をお伝えしたところ、奈良県障害福祉課の対応の不十分さは認めておられました。  
 当日も当該担当者が他の自治体で作成した資料で改善方法を説明してくださる一幕もありました。

奈良県のように怠慢とまではいわないまでも、消極的な対応の自治体

の下では、情報を見逃したり、国が発出した資料の意図を読み間違  
 って「悪意のない不正な対応」に陥ってしまう事業所も発生してしま  
 うのではないのでしょうか。本法人でもこれまでの改正において、国の  
 資料だけでは詳細が理解できず、大阪の事業所のみなさんからの情報  
 や他府県や他の政令指定都市のホームページに救われた経験が何度も  
 あります。次々に行われる法改正の度に増える事務作業に加え、貧困な  
 福祉行政の下で事業運営する事業者の嘆きとばやきを口にせずはおれない今日この頃です。





2025

# ちいろばクリスマスコンサート

※※ ヴィオラとチェンバロによる  
バロック音楽のひと時 ※※

日時 2025 年 12 月 13 日 (土)

開場 14:00 開演 14:30

会場 ちいろば園

奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

～演奏者～

チェンバロ ヴィオラ  
河野まり子 片山晶子

## プログラム

★J. S バッハ；フランス序曲 BWV 831 (チェンバロ)

★G. F. ヘンデル：ヴィオラ (ヴィオラ・ダ・ガンバ)  
とオブリガートチェンバロのためのソナタハ長調

★C. P. E. バッハ ヴィオラ(ガンバ)ソナタWq 88

★F. クーブラン：第18オールドウル

★J. S. バッハ：ヴィオラ(ヴィオラ・ダ・ガンバ)と  
チェンバロのためのソナタ第3番 ト短調 BWV 1029

★大人:1200円 こども:(小学生以下) 1000円 スイーツセット付

★観覧希望の方は事前予約をお願いします

当日、席に空きがあれば当日も受け付け致します

事前予約、お問い合わせは・・・ ちいろば園 ☎0745-72-1923

★ちいろば園⇄王寺駅北間 送迎します。利用をご希望の方は事前にお申し込み下さい

行き・・・王寺駅北 (13:45発) 帰り・・・コンサート終了後発車

☆ 後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2025年7月1日～2025年9月30日)

ありがとうございました。

篠原範子、本間結子、田中廣子、吉岡佳菜、兼平淑子、西垣真理子、小園昌代、上田和美、  
梶谷るり、大江耕平、中川朋子、木下好司、忠澤美緒、辰己浩規、菅野努、窪美代子、  
増田広正、小川あゆみ、阪口寿久、磯田薫、藤本千絵、ちいろばまつりかき氷ボランティア、  
ちいろばまつり焼きそばボランティア

以上 敬称は略させていただきます。

※ ちいろばだよりの配送停止をご希望の方は、ちいろば園までご連絡ください。

### 一ちいろば会職員研修公開講座のお知らせ

今年度の本法人の職員研修のテーマは「ハンセン病差別に学ぶ」です。

「架け橋長島・奈良を結ぶ会」にご協力いただき3回の連続講座を行います。また、この連続講座については、公開講座として参加を希望される一般のみなさんにも無料でご参加頂いています。第2回目の講座は下記の日程で開催します。ご一緒に学んでみようと思われる方はちいろば園までご連絡ください。

#### ＜第2回公開講座＞

テーマ：「ハンセン病差別に学ぶⅡ」

(講座の詳細については、決まり次第ホームページに掲載します。)

開催日：2026年 1月17日(土) 9:30～12:30

場所：ちいろば園2階会議室(三郷町勢野北5丁目)

連絡先：TEL/0745-72-1923 FAX/0745-72-1924 担当：富田、奥田

### \* クリスマスクッキー販売のお知らせ \*



マカダミアナッツとチョコチップがたっぷり入ったリッチなナッツ  
& チョコクッキーと、バンホーテンココアとクーベルチョコを使った  
濃厚なココアクッキーの2種類がはっています

1つ 400円

クリスマス柄の紙袋をご希望の方は、1枚につき別途20円をいただきます

販売期間：2025年11月25日～12月25日 ご予約受付中

訃報： 本法人の設立当初から永く、理事を務めて頂いた元奈良県議会議員 梶川虔二さんが  
去る10月27日に逝去されました。永年に渡るご奉仕に感謝し、ご冥福をお祈りします。

## KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年4回 頒価 50円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL：0745-72-1923 FAX：0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F